

11. ILAS セミナー・統合型複合科目等の履修について

ILAS セミナーは、各学部・研究科・研究所・センター等の教員がフェイス・トゥ・フェイスの親密な人間関係の中で、様々な形態の授業を行うもので、学部新生を主な対象に、学問の楽しさや意義をみなさんに実感してもらうことによる勉学生活への導入を目標として開講されています。ILAS セミナーの内、英語力の強化に資すると考えられる科目は ILAS Seminar-E2 として開講されています。

また、令和7年度から新たに開講される統合型複合科目は、履修者が一堂に会する講義と、少人数グループに分かれた演習を組み合わせた授業です。社会の複合的な諸課題からテーマを取り上げ、テーマに関連した最先端の研究に取り組む様々な部局の教員の講義・演習を通じて、文系・理系という垣根を越えた広い視野と、正解のない課題に真摯に向き合う研究探求意識、そして、時代に応じたアカデミックスキルの涵養を目標として開講します。世界に伍する研究大学である本学ならではの科目と言えます。本科目を通じ、ものの見方の多面性を知り目からウロコが落ちるような経験をし、大学で学ぶ魅力・モチベーションを発見してください。

いずれの科目も履修者数に制限がありますので、以下の事項をよく読んでから申し込んでください。

なお、申込方法等に変更が生じた場合は、KULASIS のお知らせ（教務・厚生情報）に最新情報を掲示します。

◆ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 ◆

【授業内容】

ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の授業は、歴史・地理・古典の講読や環境・資源・宇宙・医学等の最先端知見の紹介、野外実習など総合大学ならではの豊富なメニューです。①高校までの学習とは異なる、大学における主体的な学習の意義を理解できる、②教員や学生との討議を通じた学習の意義を理解できる、③アカデミックな作文に触れ、その作法の基礎を理解できる、以上の3点に配慮し、授業が設計されています。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ 学部1回生時にはILAS セミナーは1科目のみ履修登録することができます。ILAS Seminar-E2には制限はありません。
- ◇ 学部2回生以上の学生は、2回生以上を受け入れ可(対象回生:「主1」)としている科目のみ履修することができます。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 が科目名で、それぞれに副題がつけられています。よって、同一科目名で副題が異なる授業が複数開講されますが、同一科目名であっても、担当教員にかかわりなく、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修することが可能です。ただし、学部1回生が履修できる ILAS セミナーは1科目のみです。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の大多数は5時限に開講されます。学部1回生が前期の火曜日と金曜日の5時限に開講される科目を受講する場合、初修外国語（I類。ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語）については重複しないようにクラス指定します。
- ◇ 複数の ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 を履修し、単位を修得した場合、各学部が定める単位数まですべて卒業に必要な単位として認定されます。
- ◇ ILAS セミナーの一部に英語を使用言語として開講される科目がありますが、E科目としては取り扱われません。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の一部の科目は、総合人間学部の学部科目を兼ねています。総合人間学部の学生は、「全学共通科目授業一覧」(p.126～)の「学部科目」欄が『H(総合人間学部)』となっている科目を全学共通科目として履修することはできません。総合人間学部の指示に従い、学部科目として履修登録してください。
- ◇ 平成27年度以前学部入学者が ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の単位を修得した場合、卒業に必要な単位として認定されません。ポケット・ゼミの単位としても読み替えられませんので、登録の際には注意してください。ただし、総合人間学部の学生が、総合人間学部の学部科目を兼ねる科目を履修した場合には、入学年度にかかわらず学部科目として取り扱われます。
- ◇ 宇治キャンパスや桂キャンパス等で開講される科目を申し込む場合は、移動時間を考慮し、前後の授業に支障のないように注意してください。
- ◇ 受講に際しては、別途交通費等が発生する場合がありますのでシラバスを確認してください。
- ◇ 実験、野外実習等を伴う科目を受講する場合には、学生教育研究災害傷害保険に各自加入してください。
- ◇ 前期8月中旬以降・後期2月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。

【事前申込】

ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 は、予備登録を受け付け、その結果定員に余裕があれば予備登録者を許可した上で、空き定員について KULASIS にて先着順で申し込みを受け付けます。集中講義については別途募集の案内をします。ただし、学部1回生が前期に ILAS セミナーを履修する場合は、集中講義であるかどうかにかかわらず、入学予定

者サイトでの予備登録または KULASIS の ILAS セミナーページでの先着順申込（いずれも学部 1 回生のみを対象）が必要です。事前申込にあたっては次頁以降をよく読み、手続きしてください。また、事前申込の日程は、掲示等により案内しますので確認してください。

前期

学部 1 回生

予備登録 (入学予定者サイト)	入学予定者サイトで第 5 希望まで申し込みを受け付けます。申込者数が 1 回生定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。
学部 1 回生のみを対象とした 先着順申込 (KULASIS・ILAS セミナーページ)	予備登録の抽選終了後、結果を KULASIS の ILAS セミナーページで発表します。当選した科目がある場合は、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。当選科目のない学部 1 回生は、この期間中、1 回生定員に満たなかった科目に 1 科目のみ申し込みをすることができ、先着順で受け付けます。申し込みは KULASIS の ILAS セミナーページで受け付けます。 ※この先着順申込において、1 科目に申し込んだ後で申し込みたい科目を変更することはできません。 ※予備登録 (入学予定者サイト) で当選科目のあった学部 1 回生は、たとえ当該当選科目をキャンセルした後であっても、この先着順申込に参加することはできません。 <u>学部 1 回生は、入学予定者サイトでの申し込みおよびこの先着順申込の手続きを通じて、ILAS セミナーまたは ILAS Seminar-E2 (集中開講される科目を含む) から 1 科目だけ当選します。</u> <u>学部 1 回生が ILAS セミナー (集中開講される科目を含む) および集中開講される ILAS Seminar-E2 に申し込むことができる期間はここまでです。</u>
(授業開始日の前日までに)	入学予定者サイトでの申し込みまたは先着順申込で履修許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。また、「先着順で申し込みを受け付ける ILAS Seminar-E2」を KULASIS で発表します。
【ILAS Seminar-E2 のみ】 先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ)： ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	当選した科目の他に更に ILAS Seminar-E2 (集中開講される科目を除く) の履修を希望する場合は、申込者数が定員を超過していない ILAS Seminar-E2 の空き定員について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されただけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>KULASIS から履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

学部 2 回生以上

(授業開始日の前日までに)	学部 1 回生の申込状況を踏まえ、「先着順で申し込みを受け付ける ILAS セミナー」および「先着順で申し込みを受け付ける ILAS Seminar-E2」を KULASIS で発表します。学部 2 回生以上の学生は、受講定員を満たしておらず、2 回生以上を受け入れ可としている科目を履修することができます。
【ILAS セミナー・ILAS Seminar-E2】 先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ) ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	申込者数が定員を超過していない ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 (集中開講される科目を除く) の空き定員について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

※学部2回生以上が、集中開講される ILAS セミナーまたは ILAS Seminar-E2（受講定員を満たしておらず、学部2回生以上を受け入れ可としている科目に限る）を履修したい場合は、別途 KULASIS のお知らせ（教務・厚生情報）により履修申込方法等の詳細を案内しますので、その指示に従ってください。これらは、履修登録期間（確認・修正期間含む）の KULASIS での履修登録を行いません。

後期

全回生

【ILAS Seminar-E2】 予備登録（KULASIS・ILAS Seminar ページ）	全学生を対象に KULASIS の ILAS Seminar ページで第1希望のみ申し込みを受け付けます。申込者数が受講定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。 前期に ILAS セミナーの履修を許可された学部1回生も、ILAS Seminar-E2 を履修することが可能です。また、学部2回生以上の学生は、2回生以上を受け入れ可としている科目のみ申し込みを受け付けます。
（授業開始日の前日までに）	履修許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。また、「先着順で申し込みを受け付ける ILAS Seminar-E2」を KULASIS で発表します。
【ILAS Seminar-E2】 先着順申込（KULASIS・履修登録ページ） ・先着順申込受付期間1 ・先着順申込受付期間2 ・先着順申込受付期間3	予備登録の結果、定員を超過していない ILAS Seminar-E2 の空き定員について、先着順申込受付期間1から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込も、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込（p.47～）を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、履修登録期間・履修登録確認・修正期間に必ず「 <u>確定</u> 」ボタンを押し、履修登録を確定してください。

※後期は ILAS Seminar-E2 のみ開講されます（ILAS セミナーは開講されません）。

◆ 統合型複合科目 ◆

【授業内容】

統合型複合科目の授業は、履修者が一堂に会する講義と少人数グループに分かれた演習のセット（週2コマ）で行われます。講義では、社会の複合的な諸課題をテーマに、担当コーディネータが中心となり、最先端の研究に取り組む様々な部局の教員が授業を行う一方、少人数演習では、履修者を少人数グループに分け、講義のテーマを題材に他の学生との協働学習を通じて、自ら問いを立て、調べ、考え、書き、議論します。例えば、自然災害をテーマに据えた科目では、自然災害は自然現象と人間社会の諸要素が相互に関係しあって起こる複合的な現象であるという前提のもと、自然災害の発生メカニズムとともに、それに対応しようとする社会の仕組みを学び、防災・減災について考えます。

なお、令和7年度は、統合科学科目群において「統合科学・少人数演習付：（副題）」として開講される予定です。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ 「統合科学・少人数演習付」が科目名で、それぞれに副題がつけられています。複数の副題が開講される科目においては、副題が異なる場合でも同一授業とみなされます（講義コードの上位4桁が同じ）。そのため、同一開講期に複数履修登録することはできません。
- ◇ 優先して履修すべき科目と時間割が重複しないように、全学共通科目クラス指定時間割、専門科目時間割を確認のうえ、履修申込をしてください。自クラスに配当された外国語科目やクラス指定科目（自由選択科目を兼ねる科目を除く）を他クラスに変更することはできません。
- ◇ 複数の「統合科学・少人数演習付」を履修し、単位を修得した場合、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます。
- ◇ 「統合科学・少人数演習付」は「統合科学」と同一科目とみなされるため、いずれも履修し、単位を修得した場合、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます。
- ◇ 「統合科学・少人数演習付」を履修すれば4単位を修得することができますが、卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部・学科によって異なりますので、注意してください。
- ◇ 実験、野外実習等を伴う科目を受講する場合には、学生教育研究災害傷害保険に各自加入してください。
- ◇ 後期は開講未定です。前期に引き続き開講される場合は、別途 KULASIS 等を通じて案内します。

【事前申込】

統合型複合科目は、予備登録を受け付け、その結果定員に余裕があれば予備登録者を許可した上で、空き定員について KULASIS にて先着順で申し込みを受け付けます。ただし、学部1回生が前期に統合型複合科目を履修する場合は、入学予定者サイトでの予備登録が必要です。事前申込にあたっては以下をよく読み、手続きしてください。また、事前申込の日程は、掲示等により案内しますので確認してください。

前期

学部1回生

予備登録 (入学予定者サイト)	入学予定者サイトで第3希望まで申し込みを受け付けます。申込者数が定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。 予備登録の抽選終了後、結果を KULASIS の ILAS セミナーページで発表します。当選した科目がある場合は、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。
先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ) : ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	予備登録の抽選で落選した場合、または当選したもとは異なる科目の履修を希望する場合、申込者数が定員を超過していない科目の空き定員について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されただけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>KULASIS から履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

学部2回生以上

先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ) ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	申込者数が定員を超過していない統合型複合科目について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

◆ その他：海外実地セミナー ◆

令和5年度まで少人数教育科目群において開講されていた「ILAS セミナー (海外)」は、令和6年度以降はキャリア形成科目群多文化理解分野の科目「海外実地セミナー」として開講されています。

【授業内容】

海外実地セミナーの授業は、①事前講義 (現地の歴史や地理・研修内容の学習、海外での安全教育)、②海外実地研修、③事前講義と海外実地研修で学んだことをまとめたレポートの作成、以上の3点を基本に授業が設計されています。なお、この海外実地研修は大学の専任教員が引率します。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ ILAS セミナー (海外) と海外実地セミナーは同一科目とみなされますので、これらを複数修得した場合、修得年度、修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として数えられません。
- ◇ 海外実地セミナーの参加希望者は、必ず参加希望科目のガイダンスに参加してください。ガイダンスの日時場所は掲示等により案内します。
- ◇ 定員を超える申込があった科目は、無作為抽選を行い、参加者を決定します。
- ◇ 参加にあたっては、注意事項を遵守することを誓約する誓約書の提出を求めます。また、保護者の承諾を求めます。

- ◇ 事前講義では海外での安全教育を行いますので、事前講義に参加しない場合は実地研修への参加を認めないことがあります。また、国際教育交流課主催の海外渡航安全説明会への参加も必要となります。
- ◇ 交通費や滞在費、参加にあたって加入を求める海外旅行保険の保険料等、受講にかかる費用は参加者の負担になります。
- ◇ 渡航先に危険がないことを確認した上で開講していますが、紛争や感染症の流行等、渡航中の安全が確保できないと大学が判断した場合には、渡航時期を変更したり、取り止めたりすることがあります。この場合、既に支払った渡航費等の一部または全部が戻らない場合があります。
- ◇ 前期8月中旬以降・後期2月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。